

## 小学生向け学習教材「燃料電池のひみつ」を小学校・公立図書館に寄贈

記者各位

当社(社長:西尾 進路)は、株式会社学研パブリッシング(以下、「学研」という)の小学生向け学習教材「まんがでよくわかるシリーズ「燃料電池のひみつ」」の発刊に協力するとともに、全国約23,000校の小学校および約3,000館の公立図書館に寄贈しましたので、お知らせいたします。

学研の「まんがでよくわかるシリーズ」は、日本PTA全国協議会の推薦を受け、教育現場の副教材としても使用されている小学生向け学習漫画で、20年以上にわたり子供たちに愛読されています。日ごろから、子供たちが疑問に思っていること、知りたいと思っていることを、子供でも読みやすいように、漫画でわかりやすく解説しながら、読み応えのある内容になっているのが特長です。

今日、発刊された「燃料電池のひみつ」では、地球環境問題やエネルギー問題、その対策の切り札として注目されている燃料電池の特徴や仕組みを分かりやすく解説しています。また、燃料電池を初めとする様々な先進的なエネルギー機器を上手く組み合わせて使用することや、暮らし方を工夫することで出来る、家庭におけるCO2排出量削減への取り組みなども学んでいただけの内容となっております。

当社は、今回の本書を通じた取り組みの他にも、「なつやすみ科学バスツアー」や「ENEOS森のわくわく学校」といった体験型イベントの企画や、環境やエネルギーに関する小学校等への出張授業の実施などに積極的に取り組み、今後とも次世代を担う子どもたちの育成支援を行ってまいります。

以上



注:『燃料電池のひみつ』は非売品です。書店では販売されておられません。